

1970年代前半 [1970~1974]

天理東ICの新設

1970年、地元からの強い要望によってICを追加



完成した天理東IC

天理ICの約2km東に新設

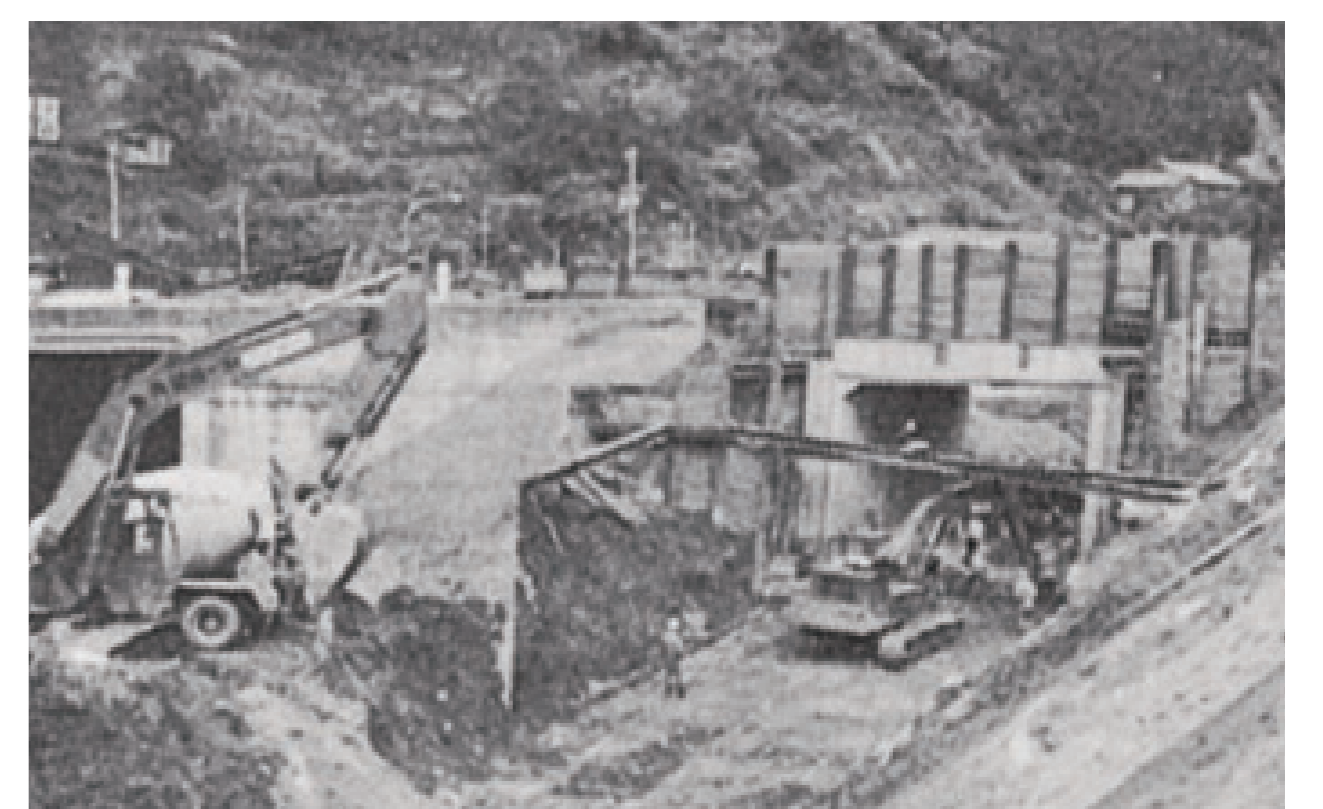
天理東ICは当初、県道天理環状線(山の辺の道)に接続するランプであり、大和盆地への東の出入り口として年々交通量が増加しつつあった。急勾配に位置しているため、ランプの加減速車線がなく、出口付近での事故が頻発する事態になっていた。これらの状況に地元から要望の声があがり、昭和50(1975)年に改良。本格的なICとして減速車線を設けたほか、ON、OFFランプを改良増設した。



工事中の天理東IC



Bランプ



本線BOXの施工